

# 校長室だより



令和6年11月26日  
大阪市立堀江小学校  
校長 高橋 純一

11月も終盤となりました。先週あたりからぐっと秋らしさが増しましたが、町の装いは早くもクリスマスを感じさせるものになりつつあります。月日の流れの早さを感じます。11月1日（金）には創立記念集会を行い、151年目の誕生日を全校児童でお祝いしました。今年度から東学舎・西学舎に分かれての集会でしたが、西六連合・堀江連合の両町会長様にもそれぞれに分かれてご講話いただき、積み重ねてきた歴史の重みを改めて感じる集会となりました。また、8日（金）にはオープンスクールを開催し、普段のお子さんの学校生活を見ていただきました。たくさんのご参観、ありがとうございました。

昨年度は悪天候のために中止となった西区総合スポーツ交歓会も無事開催され、普段は経験できない国際大会でも使用する本格的なトラックを力いっぱい走る6年生の子どもたちの姿に感動しました。今年度は、すべての校外活動を予定通り実施することができ、子どもたちも様々な経験から、多くを学んでくれたことと思います。



## 『児童アンケートの結果から』

令和6年度も残すところ、実質4か月ほどです。校内でも教育活動を見直し改善点を検討することで、子どもたちの健全育成に努めたいと考えています。9月に実施しました児童アンケートからは『自分には、よいところがある。』『人の役に立つ人間になりたい。』の質問に対しての肯定的な回答の割合が高く、自己肯定感を高めることができていると受け止めています。これは、普段から教職員が子どもたちに寄り添い『ほめること』『認めること』を大切にしている成果だと感じています。

		あてはまる	どちらかという とあてはまる	どちらかという とあてはまらない	あてはま らない
14	自分には、よいところがある。	63%	26%	7%	4%
15	人の役に立つ人間になりたい。	80%	15%	4%	1%

また、『友だちの気持ちを考え、やさしくしたりなかよくしたりできている。』『いじめはどんな理由があってもゆるされない。』の質問に対しての肯定的な回答の割合も高く、友だちとの関係を大切にしながら学校生活を過ごしていることがうかがえます。

18	友だちの気持ちを考え、やさしくしたりなかよくしたりできている。	70%	26%	3%	1%
19	いじめはどんな理由があってもゆるされない。	82%	23%	3%	2%

しかしながら、『いじめはどんな理由があってもゆるされない。』の質問に対しての否定的な回答の割合が5%あり、いじめ行為を許す心情をもつ子どもが一定数いることも事実としてうかがえました。18日（月）の全校朝会でもこのことにふれ、自己肯定感を高めるとの大切さとともに、『堀江小学校ではいじめは絶対に許さない』ことについてあらためて話しました。

また、学校外部の皆さんから改善のためのご意見をいただく学校協議会を開催した際にも『いじめ』に関する議論がありました。子どもたちのいじめアンケートの回答では、被害を受けたと回答する割合（9.8%）よりも、加害をしたと回答する割合（2.7%）が低く、自分のした行為がいじめにあたるという認識が低いということも実態として浮かびました。「いじめ防止対策推進法」では、「いじめ」とは「児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。（第2条）」と定義しています。この考えをもとに、あらためて全校で取組を推進したいと考えています。

この他、いただいたご意見の報告書をホームページにも掲載させていただいておりますが、校長室だよりもあげさせていただきました。学校外でも歩行の仕方等、ご家庭のご協力が必要となる事柄もございますので、ご覧いただけたらと思います。これからも、『ほんとうの自分』『理想をもとめて』『笑顔でがんばる』ほりえっ子をめざして、残りの時間を大切に過ごしてほしいと願っています。教職員一同、全力で支援を続けます。ご理解とご協力、よろしくお願いいたします。

（様式4）  
令和6年11月19日

令和6年度 第2回 大阪市立堀江小学校 学校協議会 実施報告書

校 園 名 大阪市立堀江小学校  
校 園 長 名 高橋 純一

出席者	日時	令和6年11月18日(月)	
	場所	大阪市立堀江小学校 東学舎 2階 西会議室	
	委員など 出席者	増村 孝(会長) 田上 治雄(副会長) 亀澤 芳美(委員) 木元 篤子(委員) 川村 太一(委員) 高橋 純一(校長) 前澤 哲(准校長) 古川 美佐子(副校長) 宮本 純(教頭) 高島 智彰(教頭) 区役所 中野下 豪紀(副区長)	
議題		(1) 令和6年度 「運営に関する計画」の中間評価 (2) 学校の状況(子ども関係、保護者関係) (3) その他(運動会等)	
協議 要旨	協議の結果		意見の概要
	(1) ○「令和6年度運営に関する計画」中間評価について、全員一致で承認された。	○学習者用端末を家に持ち帰ることについて、課題がいろいろとあるのはよくわかる。そんな中でも、ICTは必要不可欠な存在であることも確か。バランスよく推進してもらいたい。 ○理科学習をていねいに進めていただいていることがうれしい。しっかり予想・仮説をたてて、きちんと実験観察に取り組み、問題解決する姿を今後も大切にしたい。 ○下校時の子どもの人数の多さに改めて驚く。子ども以外の人たちは、スムーズに通行することもできない。広がって歩いたり、急に向きを変えたりする子もいるので、安全指導をお願いしたい。 ○いじめ問題について、いじめられている子どもの割合に対し、いじめている子どもの割合が少ない。いじめている子どもがいじめている感覚がない。どう指導していけばいいのかわからない。 ○ICT活用の推進に興味がある。どのようにして進めていくのがよいか、またタイピング能力の向上について、どんな取組が効果的なのか、共有して進めてほしい。	

協議資料	(2)	○子ども関係について理解が得られた。	○金銭関係によるトラブル。 家のお金を持ち出して友達と使うという案件。学校では今後もお金について貸し借りなどないように指導してほしい。 ○放課後に、住民ではない子どもたちがマンションの中に入り込んで遊んでいる。音も響くし迷惑になっている。今後も児童・保護者にも継続して指導してほしい。
	(2)	○保護者関係について理解が得られた。	○マナーの悪い子どもに注意をしたら、母親がすぐそばにいたにもかかわらず、見ているだけで怒ったり注意したりすることもない。保護者の感覚がずれている。 ○保護者は、英語教育・プログラミング教育に関心がある。積極的に推進してもらいたい。
	(3)	○その他の内容について理解が得られた。	○運動会はほとんどの保護者がよかったと回答している。ただし、保護者の駐輪マナーや熱中症対策について課題もある。
備考	① 令和6年度「運営に関する計画」の中間評価 ② 校内研修について ③ 保健関係の基礎データ ④ いじめアンケート ⑤ 「学力」の現状について～全国学力・学習状況調査の結果～ ⑥ R6教育活動アンケート(児童全体) ⑦ 生活指導に係る調査 ⑧ R6教育活動アンケート(保護者全体) その他 運動会について		
	傍聴者[ 0 ]名		